

山行報告書

報告書作成

2008.4.8.

山名 [山域]	北アルプス 乗鞍岳	目的と方法	山スキーを楽しむ。山頂を踏む。
登山期間	2008.4.5. (土)	山行形態	ピストン
参加人数	1名		

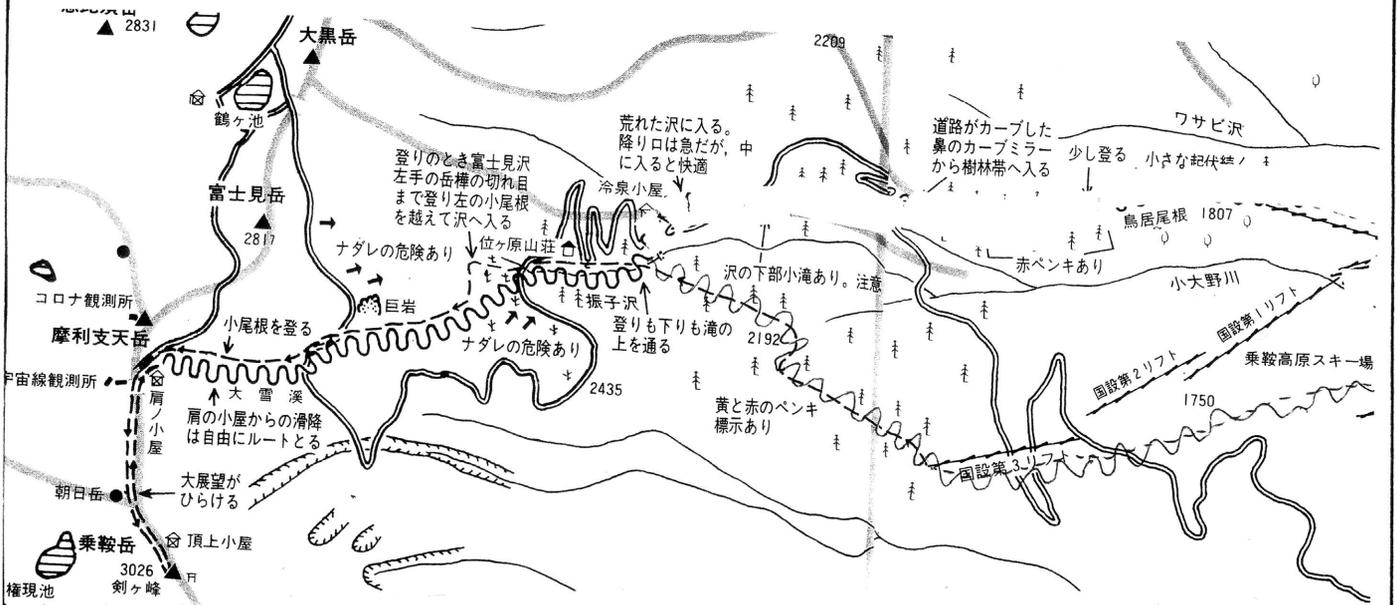
行動記録

4/5 (土) 休暇村駐車場 7:14 発 - 三木池駐車場着 7:57 - 沢上到着 8:38 - 鹿の小屋着 12:15

鹿の小屋発 12:52 (7分遅) - 剣ヶ峰着 14:14 - 鹿の小屋着 14:56

鹿の小屋発 15:27 (7分遅) - 休暇村駐車場 18:05 着

概念図



日誌

朝起きると、予想通りの快晴。私も早起きし、午前に出発し山スキーパーターを履き始める。乗鞍高原スキー場は、雪のふりかたで営業を終了しているため乗鞍高原休暇村から歩き始める。今までは非常に苦労していた最終リフト直後の急斜面も新しい幅広のスキー板とシルののおかげでアッという間に抜け出した。快晴の土曜日は、山スキーとつぼきの登山者合わせて約10人程。その内、2人は摩利支天岳へ。鹿の小屋の前でトイレ(この時期には使えない)休暇場にてつぼき登山者より、位ヶ原山荘が営業しているとの情報を得る。鹿の小屋からは、朝日岳はロープを通らず、トランスする。快晴(晴)の朝に風はそれほど強くなく、あつげな剣ヶ峰往復(これも2時間かかっている)であった。その分、体力(特に下肢筋力)の消耗は、まあかたし、位ヶ原から下の滑りは、ターンもまともに来ず、ターンは軽い連続であった。スキー場も、まともな滑れず、予想時間と大違いで予定の山行終了であった。

感想

6回めの挑戦にして初めて積雪期の剣ヶ峰初到達である。感激!! 天候は良好から、風はそれほど強くはなかったが、復路の滑りは、シボボボ、つぼきの音が、おぼろげにマシ! というくらいであった。(登りはスキーの板とシルのおかげで非常に快適であった。)